

愛知県立芸術大学 国際交流事業 完了報告書

2026 年 6 月 29 日

社会連携センター長 殿

所属学部・専攻 美術学部・メディア映像専攻
申請者 職名・氏名 教授・有持旭

国際交流事業を次のとおり実施しましたので報告します。

事業名	エストニア芸術アカデミーとの協定締結のための視察と会議				
実施期間	2026 年 6 月 1 日から 7 日				
交流機関名 (大学名等)	エストニア芸術アカデミー (EKA)				
交流機関における協 力者	Ülo Pikkov (ウロ・ピッコフ) 教授、Lilli-Krõõt Repnau (リリークロート・レプナ ウ) 准教授				
事業の概要	本学メディア映像専攻から有持を派遣し協定に関して話し合いを行う。EKA の施設見 学とレクチャーと日本の学生作品の紹介をし、本学を知ってもらう。				
事業の詳細 (必要に応じて行を 追加・削除すること)	①	プログラム	EKA 大学院学位論文・作品 審査会	日時	6/3
		会場	EKA ホール A101	集客数	100
	②	プログラム	プ リ ー ト ・ パ ル ン 展 「Puravik」	日時	6/5
		会場	Tallinn Kunstihoone	集客数	40
	③	プログラム	EKA アニメーション専攻の 卒業・修了作品上映「Tase Anima'26」	日時	6/6
		会場	Kino Sõprus	集客数	230
	④	プログラム		日時	
		会場		集客数	
事業成果	6/2 に到着後、施設見学を兼ね、EKA の卒業・修了展を見学した。6/3 にはアニメー ション専攻の大学院学位論文・作品審査会が行われ、審査員として対象の全学生の 審査に関わり、正式な書面に審査員として署名した。6/4 に EKA 名誉教授のプリー ト・パルンの個展を訪問し取材した。翌日 5 日には前日に取材した内容をもとに、				

	パルン氏とギャラリーでトークイベントを行った。6/6 には EKA アニメーション専攻の卒業・修了作品上映がタリン市内の映画館で開催されたため、学位審査員として参加した。6/7 にエストニアを離れた。想定していた以上に多忙で時間がなく、本学に関する具体的な紹介は時間の都合でできなかったが、メディア映像専攻の紹介は行った。また、英語版の大学パンフレットと 2 年前の国際交流事業の記録冊子を持参していたので、それぞれ 10 冊程度渡した。			
今後の交流の展望	帰国後、EKA の教授ら 5 名に協定に関する意思確認と覚書の内容に関するメールを送った。現在 EKA は長期休業期間のため返信はまだない。返信があり次第、その内容を社会連携センターや国際交流室と共有したいと考えている。 有持の研究成果発表のため訪問したクロアチアで、EKA の大学院に留学している日本人の学生と知り合うことができた。学生の立場から見た EKA に関する情報を得られる人脈を持つことができたのは今後の展開のための収穫となった。			
新聞・雑誌などメディアへの掲載	日付	新聞／雑誌名	ページ	表題
外部資金の取得状況	有（ ）・ 			

※ 写真や資料（チラシ・リーフレットなど）があれば添付してください。

※ ご報告いただいた内容は大学広報等に使用することがあります。ご了承ください。